



看護管理学領域

看護管理学とは

看護管理学とは、保健・福祉分野における人的・物的・経済的資源の効果的・効率的なマネジメントを体系化していく学問です。「管理」は、どんな組織・集団にも存在するものであり、全ての看護職者に必要とされるものといえます。

近年は、少子高齢化、国民医療費・社会保障費の高騰等、看護を取り巻く社会環境は急速に変化しています。こうした問題を解決し、良質で安全な看護サービスを提供するためには、幅広い知識および技術が必要であり、患者・国民の健康の維持・増進に必要な看護や医療提供体制についてエビデンスに基づく提言をしていきたいと考えています。

研究・教育活動

看護管理者は日ごろの臨床実践の中で起こった問題に対する対処を即座に求められます。臨床実践での問題意識を大切にし、その状況を把握し、様々な視点から検討を行うことが必要です。臨床現場と意見交換しながら検討を重ねることで、良質で安全な看護サービス提供の実現を目指したいと考えています。

特に、コロナ禍においては、新人看護師の離職率上昇が問題となったことから、臨床と協働した新人看護師への支援として、令和5年より新人看護師移行期支援を開始しました。また、医療安全推進センター会議にも定期的に参加するとともに、インシデントの未然防止に関する協働研究を行い、結果を臨床に還元しています。

このように、今後も臨床との協働を大切にし、臨床と教育の場をつなぐ活動を続けていきたいと思っています。

研究テーマ：看護師の職場環境に関する研究

ベッドコントロールに関する研究

医療安全に関する研究

新人看護師支援に関する研究

看護師の生涯発達に関する研究、等

社会貢献

看護管理の現場の課題や優れた臨床実践での看護管理の「知」を大切にし、その知を実践に活かすサポートをすることも私たちの大切な役割と考えています。

大学での教育活動だけでなく、メッセージャーナスとしての活動も行っています。メッセージャーナスとは、療養者・家族に寄り添い、医療の受け手と医療者をつなぐ架け橋となる看護師のことであり、ともに活動している看護職と共に情報交換の機会を設けながら活動を行っています。

また、臨床現場で起きていることを構造化して考え、現象の本質をとらえるプロセスを学ぶ目的でジョイント講座を開催し、近隣病院の管理者及び看護師の皆様方と検討の場を設けています。

看護管理に興味のある方、臨床での疑問への解決方法を見出したい方など、いらっしゃいましたらぜひ一緒に検討しましょう。